

ニーファイは まず、どうぐを つくりました。その後、船を つくりはじめました。ニーファイのお兄さんである レーマンと レムエルは、もんくを 言いました。ニーファイに 船が 作れるとは、しんじなかつたのです。

ニーファイは、かぞくは 天のお父さまを しんらいすることができると 知っていました。



船が かんせいしたとき、ニーファイのかぞくは、海を わたりはじめました。ある日、レーマンと レムエルは ニーファイに はらを たてて、ニーファイを ひもで しばってしまいました。大きな あらしがおこり、船は 風で ふきもどされました。お兄さんたちは、くいあらためたので、ニーファイは あんぜんに 船を もとのこうろに もどすことが できました。

